

# 浜頓別町まち・ひと・しごと創生総合戦略

---

平成 28 年 3 月

浜頓別町

<b>第1章</b>	<b>総合戦略の基本的な考え方</b>	<b>1</b>
1.1	策定の趣旨	1
1.2	位置づけ	2
1.3	まちの将来像	2
1.4	計画期間	2
1.5	計画人口	3
1.6	将来像の実現に向けた4つの重点プロジェクト	4
<b>第2章</b>	<b>重点プロジェクト</b>	<b>6</b>
2.1	浜頓別みらいプロジェクト	6
2.2	浜頓別しごとプロジェクト	17
2.3	浜頓別くらしプロジェクト	28
2.4	浜頓別魅力発信プロジェクト	39

# 第1章 総合戦略の基本的な考え方

## 1.1 策定の趣旨

国では、平成 26 年（2014 年）11 月に制定されたまち・ひと・しごと創生法に基づき、平成 72 年（2060 年）に 1 億人程度の人口を維持することを目指して、日本の人口動向を分析し、将来展望を示した「長期ビジョン」と、今後 5 カ年の政策目標、施策をまとめた「国の総合戦略（平成 27 年度～平成 31 年度）」を閣議決定しました。

浜頓別町においても、国の「長期ビジョン」や「総合戦略」を踏まえ、人口減少の抑制と持続可能なまちづくりに向けて、「浜頓別町人口ビジョン」及び「浜頓別町まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、浜頓別町総合戦略）」を策定しました。国が提示する「まち・ひと・しごと創生に向けた政策 5 原則」（1）自立性、（2）将来性、（3）地域性、（4）直接性、（5）結果重視に対応した施策を位置づけるものとします。

浜頓別町総合戦略は、並行して策定する「人口ビジョン」を踏まえて、地域の実情に応じた 5 カ年（平成 27 年度～平成 31 年度）の政策分野ごとの基本目標や施策の基本的方向、具体的な施策をとりまとめるものです。

検討にあたっては、「浜頓別町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部」を立ち上げるとともに、町民の代表からなる「まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会」を設置し議論を重ね、町民からも広く意見を募り、施策に反映させました。

今後、浜頓別町総合戦略の施策に従って、町民、地域、団体、企業、行政などが協力しあい、地域課題の解決に向けて重点的に取り組んでいくことが重要です。

## 1.2 位置づけ

まちづくりの指針であり、最も上位に位置づけられる行政計画「第5次浜頓別町まちづくり計画（平成21年度～平成30年度）」の関連事業の取組状況や地域課題を整理し、人口ビジョンにおける人口の将来展望を踏まえて、人口減少対策の視点から拡充すべき内容を検証し、浜頓別町総合戦略における重点プロジェクトとして位置付けています。

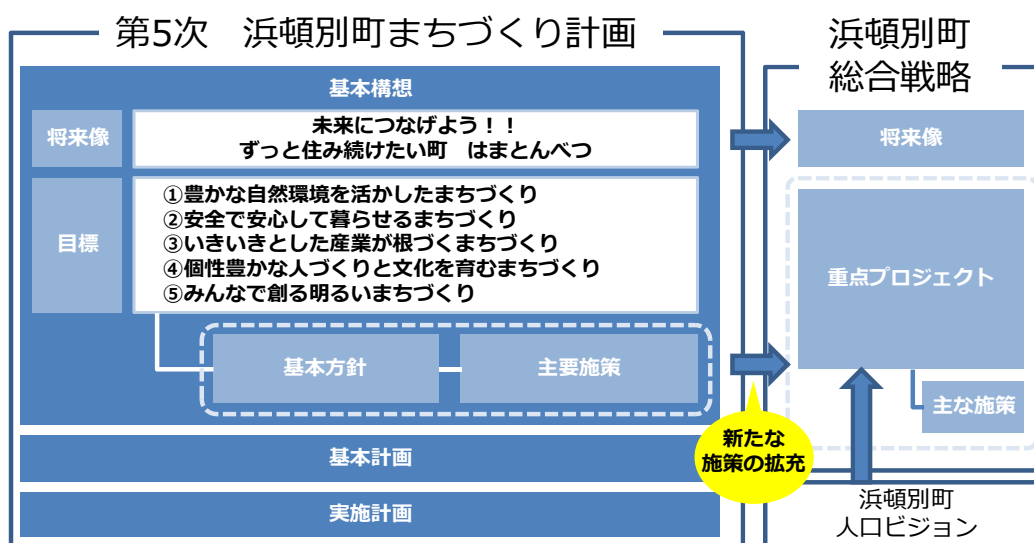


図 1 浜頓別町総合戦略の位置づけ

## 1.3 まちの将来像

浜頓別町総合戦略の将来像は、第5次浜頓別町まちづくり計画において定められているまちづくりの将来像である「未来につなげよう！！ずっと住みたい町 はまとんべつ」を踏襲します。

今現在、住んでいる人や訪れる人たちに「ずっとここで暮らしたい」「浜頓別町で暮らしてみたい」と想ってもらえる魅力あふれるまちづくりを行い、人口減少に歯止めをかけ、次世代の子どもたちにつなげます。

## 1.4 計画期間

人口ビジョンにおける将来人口推計や、中長期の将来展望を踏まえ、人口減少に歯止めをかけるための当面の施策展開として、浜頓別町総合戦略の計画期間は、平成27年度～平成31年度の5カ年とします。

## 1.5 計画人口

浜頓別町人口ビジョンの対象期間は 25 年後の平成 52 年（2040 年）としています。

人口ビジョンにおける人口の将来展望を踏まえて、平成 52 年（2040 年）に 3,000 人を目標とします。3,000 人を実現するためには、現在の人口減少傾向を緩やかに止める必要があり、計画期間の目標人口として、平成 31 年（2019 年）に 3,700 人と設定します。

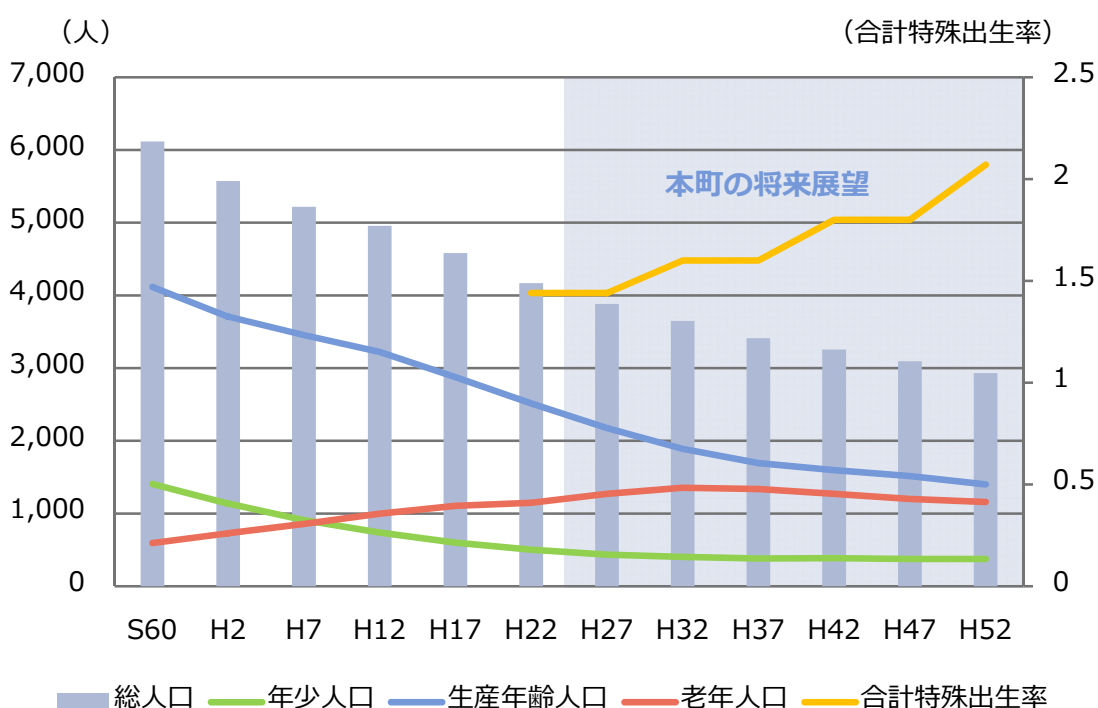


図 2 仮定値による将来人口の推計

表 1 仮定値による将来人口の推計

	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	H32	H37	H42	H47	H52
総人口	6,117	5,573	5,219	4,957	4,582	4,168	3,883	3,650	3,412	3,256	3,094	2,933
年少人口	1,407	1,137	908	738	600	504	434	404	381	386	376	375
生産年齢人口	4,116	3,707	3,454	3,221	2,876	2,516	2,177	1,890	1,693	1,598	1,516	1,401
老年人口	594	729	857	998	1,106	1,148	1,272	1,356	1,338	1,272	1,201	1,158
年少人口割合	23.0%	20.4%	17.4%	14.9%	13.1%	12.1%	11.2%	11.1%	11.2%	11.9%	12.2%	12.8%
生産年齢人口割合	67.3%	66.5%	66.2%	65.0%	62.8%	60.4%	56.1%	51.8%	49.6%	49.1%	49.0%	47.7%
老年人口割合	9.7%	13.1%	16.4%	20.1%	24.1%	27.5%	32.8%	37.2%	39.2%	39.1%	38.8%	39.5%
合計特殊出生率						1.44	1.44	1.60	1.60	1.80	1.80	2.07

## 1.6 将来像の実現に向けた4つの重点プロジェクト

浜頓別町人口ビジョンでは、本町におけるこれまでの人口の推移及び将来人口の推計による分析結果を踏まえ、以下の3つの基本的視点を掲げています。

ア 安心して子供を産み育てられる子育て環境の整備【産み育てられる】

イ 人口流出の抑制と新たな人口流入促進【働き暮らせる】

ウ 観光産業を核とした交流人口の増加【また来たくなる】

この3つの基本的視点及び国の総合戦略における基本目標を踏まえて、4つの重点プロジェクトとして整理しました。

### 【産み育てられる】

#### ① 浜頓別みらいプロジェクト ～若い世代の希望を叶える～

若い世代が、浜頓別町での結婚・出産・子育てを望み、それが可能になる環境を目指します。

### 【働き暮らせる】

#### ② 浜頓別しごとプロジェクト ～安定した雇用を生む～

基幹産業である農林水産業をはじめ、町内で働くことのできる環境を整備し、地域の活力を支える生産人口を増やすことを目指します。

#### ③ 浜頓別くらしプロジェクト ～安心なくらしを守る～

少子高齢化社会において、安心して生き生きとした暮らしを営むことができる環境を目指します。

### 【また来たくなる】

#### ④ 浜頓別魅力発信プロジェクト ～外から人を呼び込む～

地域が一体となった魅力発信で交流人口を増やし、浜頓別町ファンの拡大を目指します。

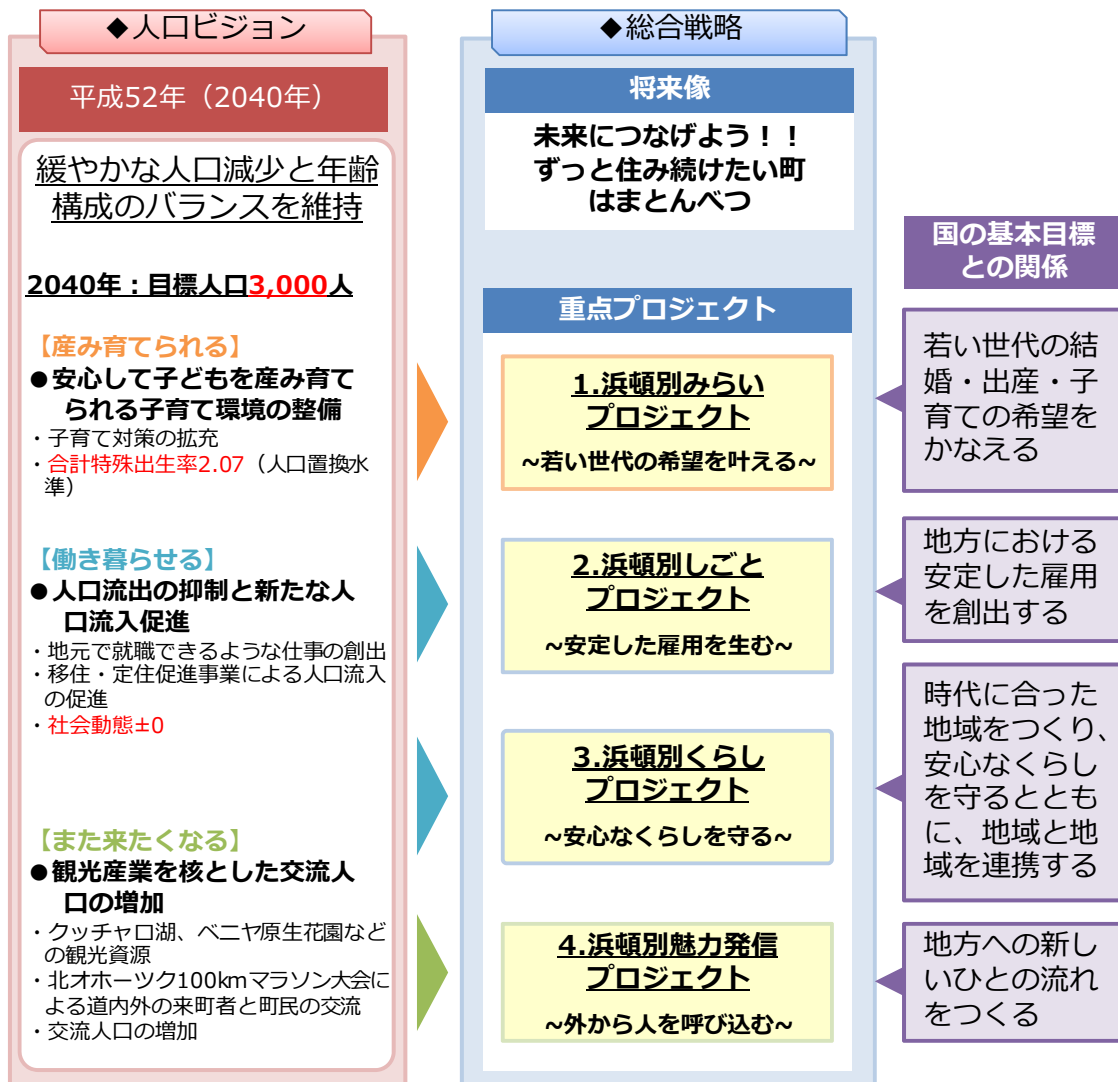


図 3 人口ビジョン及び総合戦略の概要

## 第2章 重点プロジェクト

### 2.1 浜頓別みらい プロジェクト

#### (1) 基本目標と重要業績評価指標（KPI）

若い世代が、浜頓別町での結婚・出産・子育てを望み、それが可能になる環境を目指します。

数値目標項目	基準値	目標値（H31）
合計特殊出生率	1.44 人 (H20-24)	1.60 人

#### ①結婚しやすい環境の整備

①-1 結婚サポート

KPI 年間婚姻件数 20 件

#### ②出産・子育てしやすい環境の整備

②-1 保健・医療の充実

KPI 妊産婦健康診査受診率 100%

②-2 児童福祉の充実

KPI 子育て支援センター利用者数 2,200 人、  
一時保育利用者数 320 人

#### ③充実した教育環境の整備

③-1 学校教育の充実

KPI 浜頓別高校の間口確保 2 間口

③-2 社会教育の充実

KPI 保護者対象の学習機会 延 20 回



## (2) 基本的方向

### ① 結婚しやすい環境の整備

本町では、女性に比べて男性の結婚に対する希望度が低く、現在結婚したくないという人が独身男性の50%となっています。その理由として、経済的余裕がないこと、相応しい相手に巡り合えないことなどがあげられています。また、女性については、結婚をきっかけに浜頓別町へ転入する人が、転入者の45%となっています。

浜頓別町の若者が、結婚しやすい環境の整備として、出会いの機会の創出をサポートするとともに、「仕事」「暮らし」などへの不安を解消するために、各施策とも連携して取り組みます。更に、結婚により町外から移り住んでくる人へのサポートについても、移住促進施策と連携して取り組みます。

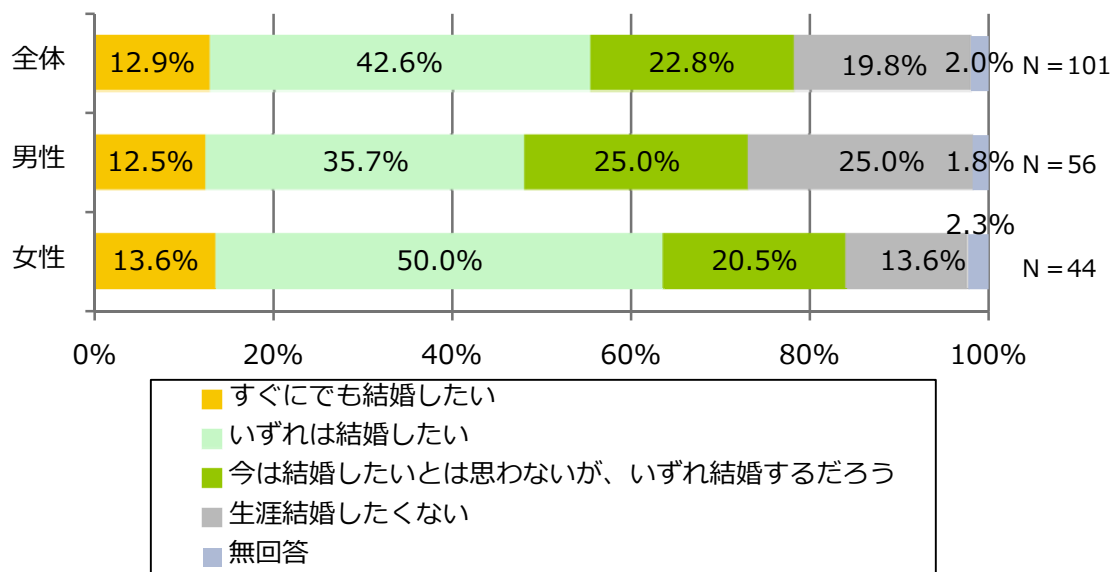


図 4 性別結婚の意思 (町民アンケート : 10-40 代の独身者)

## ② 出産・子育てしやすい環境の整備

本町では、認定こども園をはじめ、子育て環境の充実に力を入れており、利用者も増えています。一方で、既婚の夫婦の希望する子供数が2.3人であるのに対して、現在の子ども数は1.4人となっており、理想と現実には差が生じています。出産や子育てに必要なこととして、半数以上の人が必要と求めています。また、安定した雇用環境や経済的な安定も出産や子育てにとって重要です。本町では、現在共働きの夫婦が半数を超えています。

浜頓別町で安心して出産・子育てできる環境の整備として、保健・医療サービスに係る経済的なサポートをはじめ、相談機会の創出、町民の理解・協力体制の醸成など、多様な角度からのサポートを行います。

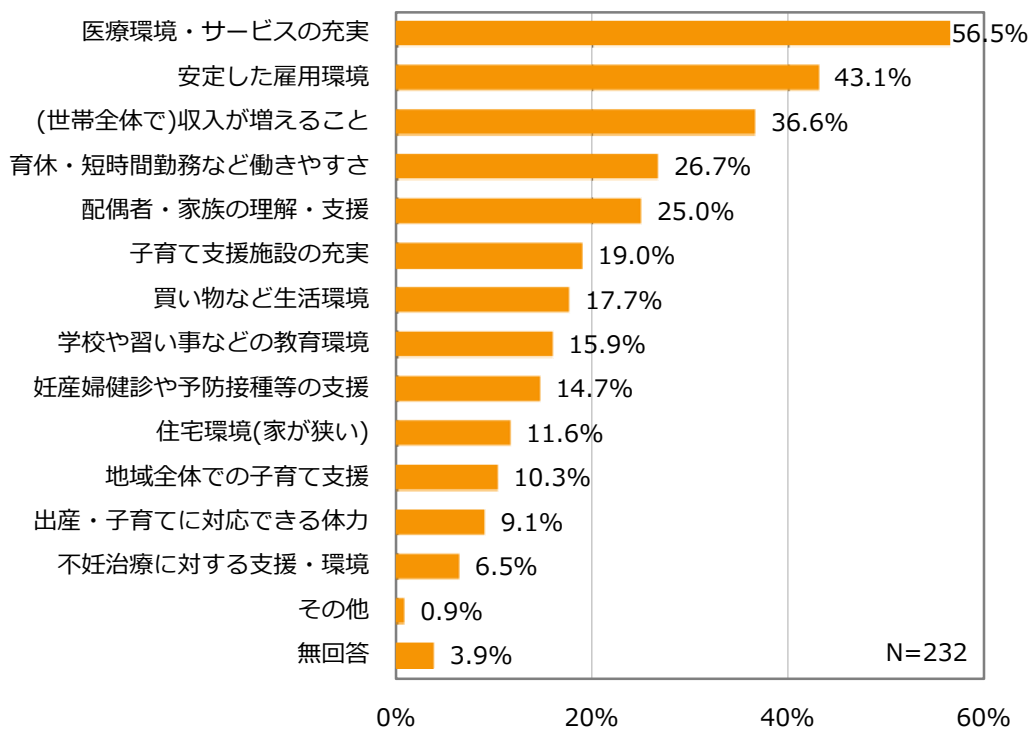


図 5 出産や子育てに必要なこと（町民アンケート：10-40代の町民）

### ③ 充実した教育環境の整備

本町には、こども園が1園、小学校が2校、中学校が1校、高等学校が1校あります。子どもたちの資質に合わせた柔軟な教育の実現に向けて、地域の中でより連続性を持った教育環境を形成することが必要です。そのため、小中学校間での子どもたちに関する学習・生活全般の情報共有を行ったり、児童・生徒同士の交流を促進したりするなど、地域全体で教育環境の連続性を高め、教育環境の充実を図ります。

### (3) 具体的な施策

#### ① 結婚しやすい環境の整備

##### ①-1 結婚サポート

- ① 婚活イベント支援事業
- ② 浜頓別で暮らそうツアー（婚活支援）

#### ② 出産・子育てしやすい環境の整備

##### ②-1 保健・医療の充実

- ① 母子保健事業
- ② 妊産婦安心出産支援費助成事業
- ③ 予防接種費助成事業（定期予防接種）
- ④ ひとり親家庭等医療費助成事業
- ⑤ インフルエンザ予防接種助成事業
- ⑥ 子ども医療費助成事業
- ⑦ 不妊治療費用助成事業

##### ②-2 児童福祉の充実

- ① 児童手当
- ② 遠距離通園時交通費補助金
- ③ 地域子育て支援拠点事業
- ④ 一時保育事業
- ⑤ 障がい児保育・特別支援保育事業
- ⑥ 放課後子どもプラン推進事業(学童保育所、いきいき放課後教室)
- ⑦ 浜頓別子育てサポーター制度

#### ③ 充実した教育環境の整備

##### ③-1 学校教育の充実

- ① 小中連携事業
- ② 個別教育支援事業
- ③ 各種研修会の実施
- ④ 学習支援員・特別支援員の配置
- ⑤ 高等学校間口対策事業
- ⑥ 通学定期運賃補助事業
- ⑦ 他市町村在籍者への補助
- ⑧ 学習会・合宿の実施
- ⑨ 外国語指導助手（ALT）の活用
- ⑩ 道立浜頓別高等学校教育振興補助事業
- ⑪ 情報機器・システム導入事業
- ⑫ 郷育の推進

##### ③-2 社会教育の充実

- ① 学校支援地域本部事業
- ② 家庭教育支援事業
- ③ 青少年の読書推進事業
- ④ 芸術文化活動補助金
- ⑤ 図書館蔵書整備事業
- ⑥ 郷土資料館運営事業

① 結婚しやすい環境の整備

①-1 結婚サポート

● 出会いの機会の創出をサポート

- ・ 既存の婚活イベントと連携した、出会いを目的とした都市部での婚活パーティーや、浜頓別町での暮らしを感じてもらうことを目的としたツアー〈婚活編〉を段階的に実施
- ・ 浜頓別町の魅力発信、移住の先輩の話、仕事・暮らしについて情報提供
- ・ 浜頓別くらしプロジェクトと連携

数値目標項目	基準値	KPI (H31)
年間婚姻件数	17件 (H22-H26 平均)	20件

具体的な事業	① 婚活イベント支援事業 ② 浜頓別で暮らそうツアー（婚活支援）
--------	-------------------------------------

## ② 出産・子育てしやすい環境の整備

### ②-1 保健・医療の充実

- **育児相談や保健指導の実施**
  - ・ 乳児・幼児の成長に合わせた助言や指導
  - ・ 家庭での子育てに対する理解の醸成
- **妊産婦の出産に係る費用を助成**
  - ・ 周産期の通院に係る交通費、宿泊費等を助成
  - ・ 申請時期を逃さないよう周知を徹底
- **子どもの医療費を助成**
  - ・ 子どもの医療費助成（通院・予防接種など）を強化
- **不妊治療に係る費用を助成**
  - ・ 不妊治療受診者に対する保険適用外の費用を助成

数値目標項目	基準値	KPI (H31)
妊産婦健康診査受診率	100% (H26)	100%

具体的な事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 母子保健事業</li> <li>② 妊産婦安心出産支援費助成事業</li> <li>③ 予防接種費助成事業（定期予防接種）</li> <li>④ ひとり親家庭等医療費助成事業</li> <li>⑤ インフルエンザ予防接種助成事業</li> <li>⑥ 子ども医療費助成事業</li> <li>⑦ 不妊治療費用助成事業</li> </ul>
--------	--

## ②-2 児童福祉の充実

### ● 子育て家庭の安定に向けたサポート

- ・ 児童手当等の児童福祉に関する経済支援の充実
- ・ 町内全域からこども園が利用しやすいよう交通費を助成（利用者の交通手段確保は、浜頓別くらしプロジェクトと連携して検討）
- ・ 生活状況の確認や相談する機会づくり（メール等の場所・時間帯を選ばない相談方法の検討）
- ・ 一時保育による育児がしやすい柔軟な環境づくり
- ・ 障がい児、健常児が区別なくこども園での保育を受けられるよう支援

### ● 地域での子育て支援体制の強化

- ・ 放課後や長期休業中の生活の場を確保（学童保育所、いきいき放課後教室の事業連携・統合の検討）
- ・ サポートに地域の高齢者等のボランティア（浜頓別子育てサポーター）を活用

数値目標項目	基準値	KPI（H31）
子育て支援センター利用者数	1,976人 (H26)	2,200人
一時保育利用者数	292人 (H26)	320人

具体的な事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 児童手当</li> <li>② 遠距離通園時交通費補助金</li> <li>③ 地域子育て支援拠点事業</li> <li>④ 一時保育事業</li> <li>⑤ 障がい児保育・特別支援保育事業</li> <li>⑥ 放課後子どもプラン推進事業(学童保育所、いきいき放課後教室)</li> <li>⑦ 浜頓別子育てサポーター制度</li> </ul>
--------	---

### ③ 充実した教育環境の整備

#### ③-1 学校教育の充実

##### ● 連続性のある教育体制の整備

- ・ 義務教育 9 年間を見通した小中連携に向けた学力向上プランの実施、学校改善プランの改善・充実
- ・ 学校間の情報共有および児童・生徒の交流の促進
- ・ 教職員の現場ニーズに応じた各種研修会への参加や校内研修の充実
- ・ 障害のある児童生徒について、個別の教育支援計画を作成し、乳幼児期から学校卒業後まで一貫した教育的支援を実施

##### ● 通学しやすい環境の整備

- ・ 他市町村から浜頓別高校へ通う生徒等への経済的援助
- ・ 学校の魅力を PR するパンフレットの作成

##### ● 学習支援機会の拡充

- ・ 長期休業中の大学生等による学習会の実施
- ・ 通学合宿事業「はまとんべつ寺子屋塾」の実施
- ・ 外国語教育機会の拡大（放課後子どもプラン推進事業との連携等）

##### ● キャリア教育の拡充

- ・ 希望する進学先・就職先への道筋をサポートする体制の強化
- ・ 浜頓別しごとプロジェクトとの連携による職業体験機会の拡充

##### ● 教育環境の整備

- ・ 教職員の事務軽減のための情報機器やシステム導入の検討
- ・ ICT 教育関連機器の計画的な導入

##### ● 郷育の推進

- ・ 地域の自然や歴史・文化、食、職業など、郷土での暮らしを学び、考え、体験することができる機会の創出



数値目標項目	基準値	KPI (H31)
浜頓別高校の間口確保	2 間口 (H26)	2 間口

具体的な事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 小中連携事業</li> <li>② 個別教育支援事業</li> <li>③ 各種研修会の実施</li> <li>④ 学習支援員・特別支援員の配置</li> <li>⑤ 高等学校間口対策事業</li> <li>⑥ 通学定期運賃補助事業</li> <li>⑦ 他市町村在籍者への補助</li> <li>⑧ 学習会・合宿の実施</li> <li>⑨ 外国語指導助手 (ALT) の活用</li> <li>⑩ 道立浜頓別高等学校教育振興補助事業</li> <li>⑪ 情報機器・システム導入事業</li> <li>⑫ 郷育の推進</li> </ul>
--------	--

### ③-2 社会教育の充実

- **地域での教育支援体制の強化**
  - ・ 地域全体で子どもの教育支援を行い、学校・家庭をサポート
  - ・ 学校が必要とする学習、部活動、環境整備、学校行事等の支援
  - ・ こども園、子育て支援センターと連携した保護者対象の学習機会の提供
- **芸術文化へのふれあい機会の創出**
  - ・ 著名な作家の講演会等を行い、読書の推進企画を拡充
  - ・ 芸術文化の鑑賞機会および体験の場の拡充
  - ・ 町民ボランティアの活用に向けた文化サークルの活動の一端としての実行委員会運営の検討
- **社会教育の拠点づくり**
  - ・ 誰もが使いやすい図書館づくりの検討
  - ・ ブタウス遺跡等の資源を活用した郷土資料館機能の拡充

数値目標項目	基準値	KPI (H31)
保護者対象の学習機会	17回 (H26)	延 20回

具体的な事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 学校支援地域本部事業</li> <li>② 家庭教育支援事業</li> <li>③ 青少年の読書推進事業</li> <li>④ 芸術文化活動補助金</li> <li>⑤ 図書館蔵書整備事業</li> <li>⑥ 郷土資料館運営事業</li> </ul>
--------	---

## 2.2 浜頓別しごと プロジェクト

### (1) 基本目標と重要業績評価指標（KPI）

基幹産業である農林水産業をはじめ、町内で住み続けられるための雇用環境を整備し、地域の活力を支える生産人口を増やすことを目指します。

数値目標項目	基準値	目標値（H31）
町内就業者数	2,154人	2,175人

#### ① 地域産業の競争力の強化

①-1 農林水産業の経営強化

KPI 農業生産額 36億3千万円、森林整備事業 480ha、漁獲量 21,000t

①-2 商工業の活性化

KPI 起業の件数 3件

#### ② 産業間の連携の強化

②-1 地域が誇る浜頓別ブランドの形成

KPI 優良特産品登録数 15品、学校給食での地域食材の利用率 7%

#### ③ 人材の確保・育成

③-1 後継者対策

KPI 家族経営協定締結数 22件

③-2 新規就業者の確保に向けた情報発信・サポート

KPI 地域おこし協力隊 3人、各産業学校出前講座 5回

## (2) 基本的方向

### ① 地域産業の競争力の強化

農林水産業においては、地域資源を有効に活用し、経営を強化して安定的な経営基盤を確立することが求められています。

農業は、法人経営が6戸、TMRセンターが2つと大規模化が進んでいます。一方農業者の高齢化が進んでおり、地域の農業を維持するためには分業化が必要です。農地の集積は農地集積協力金事業により集積が進んでいます。

林業は、町有林においては林産物の生産がほとんどない状況で、間伐等により森林整備・保全が進められています。林野面積約27,000haのうち、民有林が約4割を占め、大半が不在村所有者が所有する森林となっています。これらの森林の適切な管理を継続して行うとともに、木材の需要の高まりに対応して、林産物の生産・利活用に向けた地域材の活用推進に取り組めます。

漁業は、ホタテ、サケ、毛ガニ、タコ等を主とした沿岸漁業です。気象条件や市場価格による影響を受けやすく、経営の安定化に向けた取組が必要となっています。関係者間の連携により、計画的な資源管理型漁業に向けて、現在の水産資源の把握をはじめ、新規漁場の整備や新たな魚種の養殖の検討を行います。

商工業においては、農林水産業と連携するとともに、地域ニーズに対応したサービスの提供や、地域資源を活用した製造業の育成が求められています。

商業は、小規模経営が大半を占めています。商店街の活性化に向けた取組が行われていますが、高齢化や都市部への買い物客の流出によって利用者が減少し、空き店舗が増加している状況です。地域の生活を支えるサービスの提供に向けて、利用者のニーズに応じた取組と関係者間の連携が求められています。

工業は、乳製品や水産加工品といった食料品製造業や土砂・コンクリート製品といった窯業・土石製品製造業が中心となっています。地域資源を活用した製造業等の育成・立地に向けた支援に取り組めます。

## ② 産業間の連携の強化

地域の活性化に向けて、地域の産業間で連携し、浜頓別町が一体となって地域産品等をPRすることが重要です。現在、本町の特産品であるサケやホタテなどはブランドとしての販売はしておらず、他商品との差別化や付加価値化に向けた取組が必要です。また、地元特産品を優良特産品として登録するなど、PRの取組はありますが、商品数が17個(うち5個は販売休止中)で平成22年度以降新たな登録がなく、地域内でも入手できる場所が限定的で分散しているといった課題があります。広く消費者に受け入れられる商品としての地位を確立するためには、地域ニーズに合わせた商品改善や、ラインナップ強化、知名度の向上、販路の開拓に向けた取組が必要です。

1次産業・2次産業・3次産業の連携で、資源の魅力を効果的に発信する地域ブランドを開発し、生産・加工・販売(流通)を行うことで、地域ビジネスの展開や新たな産業の創出につなげます。

また、活力ある産業の形成に向けて、地域における関係者間で連携するとともに、地域資源を地元で積極的に活用する地産地消や、域内消費の促進にも取組みます。

表 2 優良特産品登録商品一覧

	商品名	販売場所(浜頓別町内)	認定年月日
1	ホタテまんじゅう	浜頓ホテル	H21.3.2
2	鮭まんじゅう	浜頓ホテル	H21.3.2
3	ペレアイス(フルーツ)	ベニヤ原生花園、はまとんべつ温泉ウイング	H22.10.18
4	金箔入りアイス黄金伝説	ウソタンナイ砂金採掘公園	H22.10.18
5	ミルクジャム(プレーンタイプ)	ぶんちゃんの里	H21.3.2
6	生キャラメル風ミルクジャム	ぶんちゃんの里	H21.3.2
7	たご三升漬	(有)丸美菅原水産直売所	H20.11.17
8	ほたてみみ三升漬	(有)丸美菅原水産直売所	H20.11.17
9	いか三升漬	(有)丸美菅原水産直売所	H20.11.17
10	さけとば	Aコーブラ・ラック浜頓別店、中村商店	H20.11.17
11	燻製するめ	Aコーブラ・ラック浜頓別店、中村商店	H20.11.17
12	たごしゃぶ	Aコーブラ・ラック浜頓別店、中村商店	H20.11.17

### ③ 人材の確保・育成

本町では、基幹産業である農林水産業を中心に、人材不足が恒常的に続いており、就業者数の減少が著しくなっています。特に農林水産業は、具体的な仕事内容が見えないことも、就業につながらない、定着しづらいなどの一因となっています。

一方、浜頓別町に住む高校生の45%が将来的に浜頓別町に戻りたいという希望を持っていることから、地域への愛着を持つ若者が働ける環境づくり・仕事とのマッチングが必要です。

人材の確保・育成に向けて、新規就業者が仕事の具体的なイメージを持てるような情報発信や体験機会を作るとともに、定着に向けたサポートを行います。また、後継者対策として、後継者への引き継ぎに向けた計画・準備等のサポートを行います。

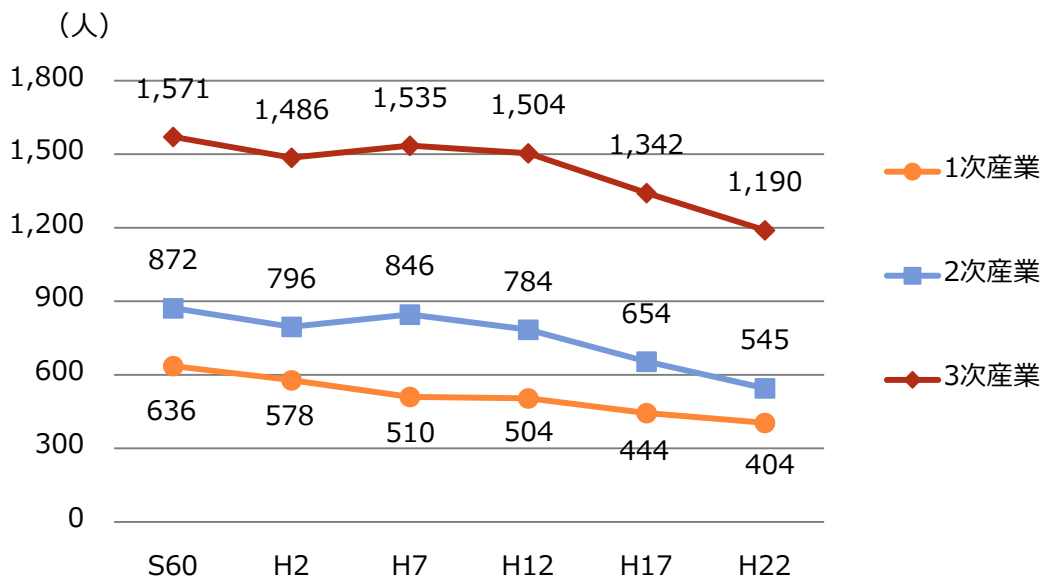


図 6 産業別就業者数の推移 (国勢調査)

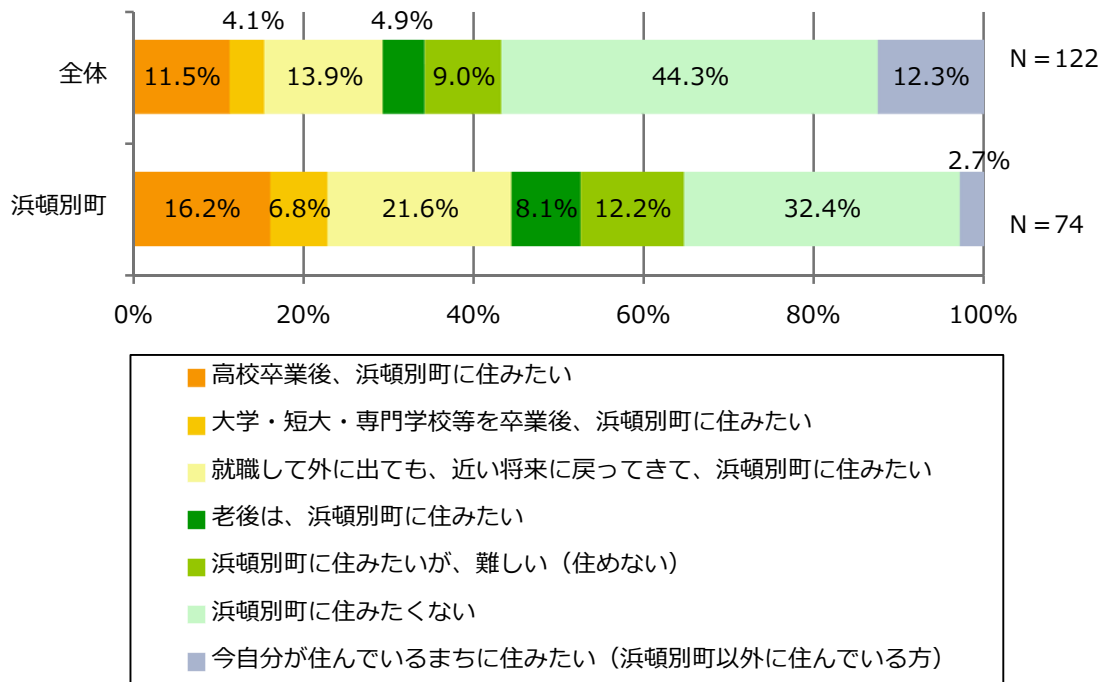


図 7 将来の居住意向（高校生アンケート）

### (3) 具体的な施策

#### ① 地域産業の競争力の強化

##### ①-1 農林水産業の 経営強化

- ① 中山間地域等直接支払交付金
- ② 畜産クラスター事業
- ③ 農業経営改善研修会の開催
- ④ 町有林整備事業
- ⑤ 民有林整備事業
- ⑥ 間伐等促進事業
- ⑦ さけ資源増大策支援事業
- ⑧ 水産物供給基盤機能保全事業
- ⑨ 新規漁場及び養殖場整備検討事業

##### ①-2 商工業の活性化

- ① 中小企業信用保証料補給補助金
- ② 中小企業経営近代化促進事業補助金
- ③ 中小企業制度資金利子補助金
- ④ 商業機能の活性化に向けた取組支援
- ⑤ 起業支援
- ⑥ 空き店舗活用事業
- ⑦ 小売商店を集めた共同施設の整備
- ⑧ 企業立地促進補助金
- ⑨ 工業団地の利用促進

#### ② 産業間の連携の強化

##### ②-1 地域が誇る浜頓別ブランドの形成

- ① 優良特産品認定推奨ブランド開発
- ② 「浜頓別印」の特産品開発事業
- ③ 域内消費拡大事業
- ④ 学校給食での地元食材活用事業
- ⑤ 浜頓別まるしえ事業
- ⑥ 交流館事業（産業振興施設）

#### ③ 人材の確保・育成

##### ③-1 後継者対策

- ① お仕事引継サポート事業

##### ③-2 新規就業者の確保に向けた情報発信・サポート

- ① 浜頓別お仕事大辞典
- ② 浜頓別お仕事体験会
- ③ 人材発掘事業
- ④ 郷育の推進（再掲）



## ① 地域産業の競争力の強化

### ①-1 農林水産業の経営強化

- **地域で連携した農業運営**
  - ・ 農地の集約化等による農業の大規模化・効率化
  - ・ 「畜産クラスター事業」の活用など関係者間の連携強化
- **町内森林資源の育成・活用**
  - ・ 森林の適切な管理および資源の計画的な利活用
  - ・ 不在村への所有者への情報発信による森林資源の活用促進
  - ・ 地域材を活用した公共建築物の促進
- **長期的な視点での水産資源の確保**
  - ・ 現在の水産物資源量の把握
  - ・ 長期的な視点での経営安定化に向けた事業検討（新規漁場の整備、新たな魚種の養殖）

数値目標項目	基準値	KPI (H31)
農業生産額	31 億 2 千万円 (H26)	36 億 3 千万円
森林整備事業	426.37ha (H26)	480ha
漁獲量	18,742t (H26)	21,000t

具体的な事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 中山間地域等直接支払交付金</li> <li>② 畜産クラスター事業</li> <li>③ 農業経営改善研修会の開催</li> <li>④ 町有林整備事業</li> <li>⑤ 民有林整備事業</li> <li>⑥ 間伐等促進事業</li> <li>⑦ さけ資源増大策支援事業</li> <li>⑧ 水産物供給基盤機能保全事業</li> <li>⑨ 新規漁場及び養殖場整備検討事業</li> </ul>
--------	--

## ①-2 商工業の活性化

### ● 地域ニーズに合わせた商業機能の確保

- ・ 中小企業の経営支援（経済的支援、地域での買い物・サービスの地域ニーズの把握及び対応策の協議・連携の促進）
- ・ 起業支援（移住・定住事業と連携し、地域ニーズに応じた業種の起業家を募集・支援）
- ・ 空き店舗の活用や共同小売店舗といった場所の整備

### ● 地域資源を活かした製造業等の振興

- ・ 水産加工をはじめとする地域資源を原料とした製造業等の育成・立地に向けた支援

数値目標項目	基準値	KPI（H31）
起業の件数	-	3件

具体的な事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 中小企業信用保証料補給補助金</li> <li>② 中小企業経営近代化促進事業補助金</li> <li>③ 中小企業制度資金利子補助金</li> <li>④ 商業機能の活性化に向けた取組支援</li> <li>⑤ <b>起業支援</b></li> <li>⑥ 空き店舗活用事業</li> <li>⑦ 小売商店を集めた共同施設の整備</li> <li>⑧ 企業立地促進補助金</li> <li>⑨ 工業団地の利用促進</li> </ul>
--------	---

## ② 産業間の連携の強化

### ②-1 地域が誇る浜頓別ブランドの形成

- 「浜頓別印」の特産品開発
  - ・ 鮭やホタテの浜頓別ブランド化
  - ・ 浜頓別町の地域産品を活用した特産品（料理や土産品等）の開発（1・2・3次産業が一体となった検討チーム）および既存商品の強化
  - ・ 1次産品の付加価値向上が、既存産業の振興とともに仕事の魅力向上にもつながることへの生産者・事業者の理解醸成
- 地産地消の推進
  - ・ 地域内企業・サービス・資源活用に対する優遇措置
  - ・ 学校給食での地元食材活用（特産品・料理等の提供）
  - ・ 地元産品を集めた「浜頓別まるしえ」の実施
- 地域活性化の拠点づくり
  - ・ 交流、観光振興及び産業振興の役割を担う浜頓別町交流館を整備
  - ・ 地産地消のアンテナショップを設置し特産品を展示・販売

数値目標項目	基準値	KPI (H31)
優良特産品登録数	12品	15品
学校給食での地域食材の利用率	5.7% (H26)	7%

具体的な事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 優良特産品認定推奨ブランド開発</li> <li>② 「浜頓別印」の特産品開発事業</li> <li>③ 域内消費拡大事業</li> <li>④ 学校給食での地元食材活用事業</li> <li>⑤ 浜頓別まるしえ事業</li> <li>⑥ 交流館事業（産業振興施設）</li> </ul>
--------	---

### ③ 人材の確保・育成

#### ③-1 後継者対策

- 引継準備サポート
  - ・ 後継者への引継に向けた計画・準備の支援や研修会の実施
- 後継者への技術・経済支援
  - ・ 関係機関と連携した生産技術や経営向上を図る研修会の実施
  - ・ 老朽化施設等の改修にかかる費用の助成

数値目標項目	基準値	KPI (H31)
家族経営協定締結数	18件 (H26)	22件

具体的な事業	① お仕事引継サポート事業
--------	---------------

### ③-2 新規就業者の確保に向けた情報発信・サポート

- 浜頓別での仕事に関する「リアル」な情報発信

- ・ 仕事の「リアル」な情報を発信
- ・ 地域の高校生や移住希望者等を対象とした浜頓別町での仕事を紹介したパンフレット・サイトの作成・周知
- ・ 小中学生・高校生や移住希望者等を対象とした職業体験
- ・ 浜頓別町雇用対策協議会との連携
- ・ より具体的な人材募集（求める人材と提示条件の具体化、地域おこし協力隊等の活用）
- ・ 各種フェア等での情報発信

数値目標項目	基準値	KPI (H31)
地域おこし協力隊	-	3人
各産業学校出前講座	-	5回

具体的な事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 浜頓別お仕事大辞典</li> <li>② 浜頓別お仕事体験会</li> <li>③ 人材発掘事業</li> <li>④ 郷育の推進（再掲）</li> </ul>
--------	---

## 2.3 浜頓別くらし プロジェクト

### (1) 基本目標と重要業績評価指標（KPI）

少子高齢化社会において、安心して生き生きとした暮らしを営むことができる環境を目指します。

数値目標項目	基準値	目標値（H31）
年間転出者数	250人 (H26)	200人

#### ① 誰もが暮らしやすいまちづくり

①-1 暮らしのサービスの充実  
(住宅、買い物、交通、娯楽)

KPI デマンドバス利用者数 5,000人

①-2 保健・医療の充実

KPI 専門外来（小児科・眼科）の診療日数  
年 36日、特定健診受診率 60%

①-3 福祉（高齢者・障害者・低所得者）の充実

KPI 支え合いマップづくり 10自治会

#### ② 地域連携によるコミュニティづくり

②-1 防災・消防の強化

KPI 町内一斉防災訓練の実施 1回

②-2 住民参画の推進

KPI 広報作成の市民ボランティア 12人

②-3 コミュニティ活動の充実

KPI 住民懇談会実施自治会数 23自治会

#### ③ 移住・定住の促進

③-1 移住・定住希望者の確保に向けた情報発信・サポート

KPI 移住体験事業利用件数 20件、移住・定住者 3件

## (2) 基本的方向

### ① 誰もが暮らしやすいまちづくり

本町では、人口減少に伴い、交通、医療・福祉、買い物等の暮らしの利便性が低下しています。高齢化によって、まちなかで安心して便利に暮らすことのできる環境が求められるとともに、今後若い世代が地域に残って暮らし続けたいと思えるよう、それぞれのニーズに応じたサービスの提供を検討する必要があります。

誰もが暮らしやすいまちづくりに向けて、現在のサービス体系を見直し、機能の拡充を検討します。さらに、住民の力を最大限活用して、互いに支え合うまちづくりを行います。

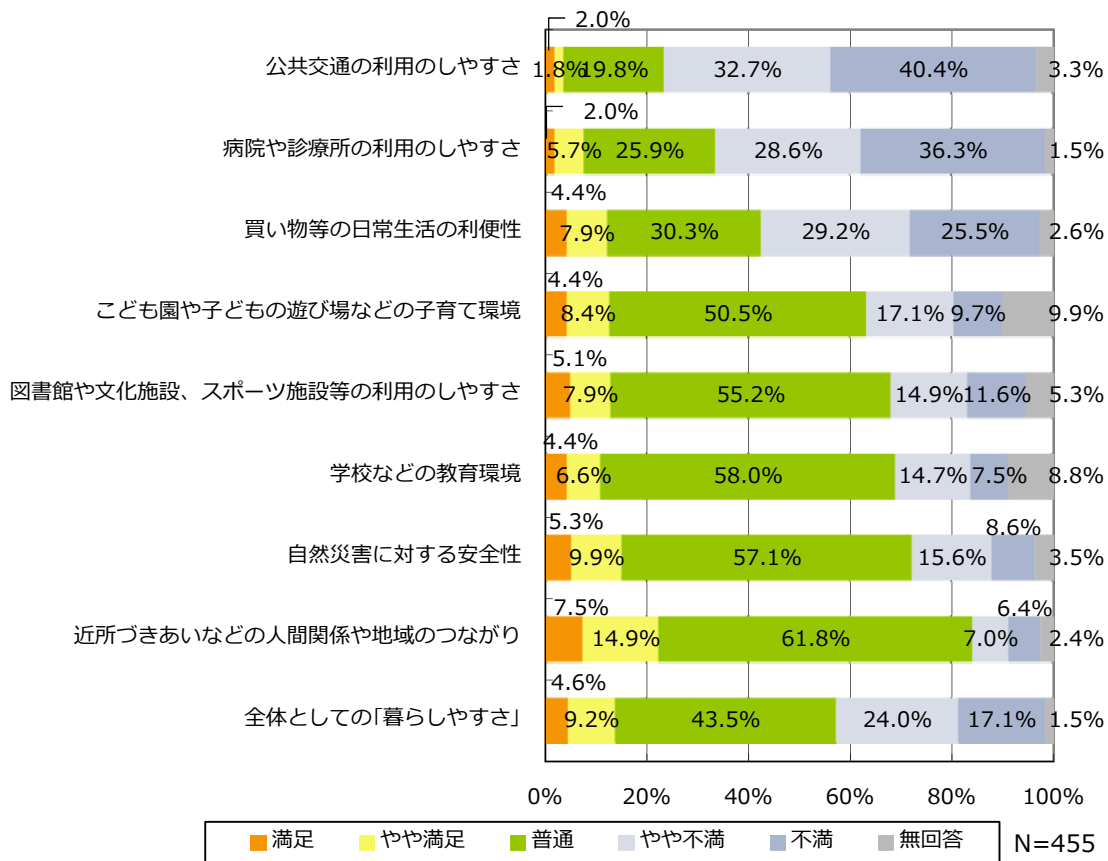


図 8 浜頓別町における生活環境についての満足度（町民アンケート）

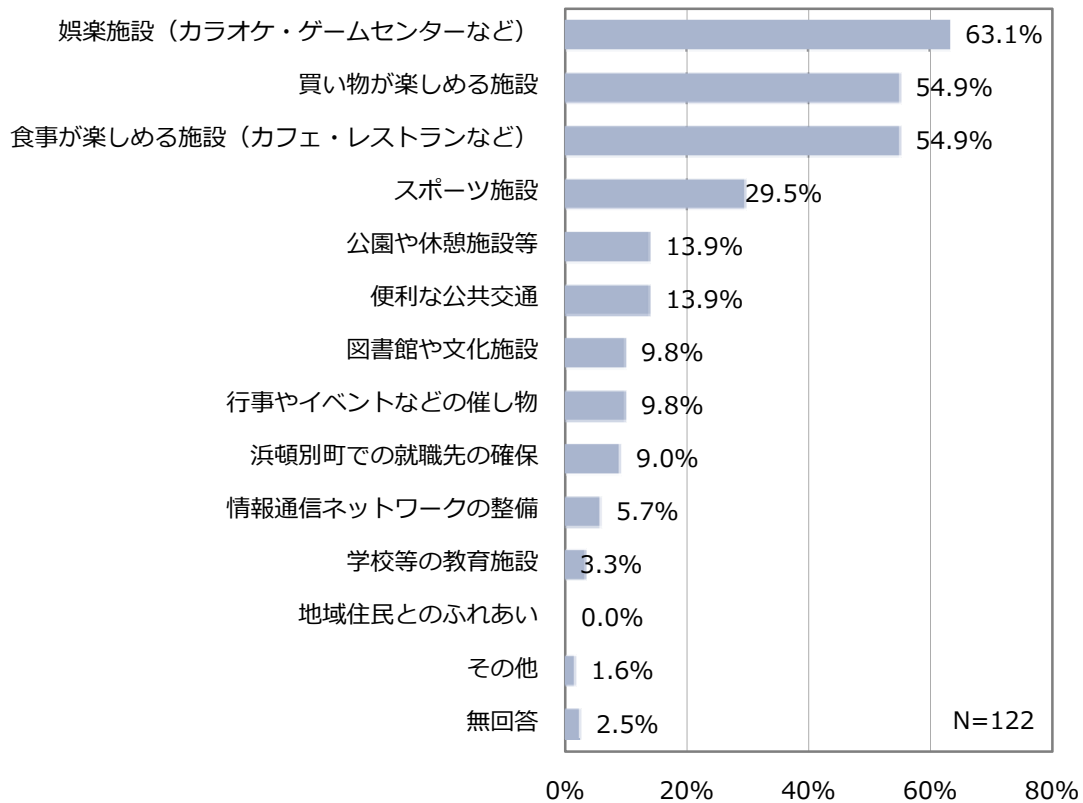


図 9 浜頓別町で充実して欲しい施設・サービス・施策（浜頓別高校生アンケート）



## ② 地域連携によるコミュニティづくり

現在、本町では1つのNPO団体による活動をはじめ、体育・文化団体（26団体）、スポーツ少年団（6団体）、社会教育関係団体（4団体）、女性学級など、多様なコミュニティ活動が行われています。しかし、これらの住民の自発的・主体的なコミュニティ活動の展開は一部に限定されていることから、全町的な展開が今後の課題となっています。

地域住民が主体となったコミュニティづくりに向けて、自発的な展開が可能となるような仕掛けやきっかけ、場づくりを行います。

## ③ 移住・定住の促進

本町では、移住・定住促進に向けて、生活体験ができる「ちょっと暮らし」の取組や、ふるさと定住促進宅地制度を実施しています。生活体験から実際に移住・定住に結びつけるためには、暮らし・しごとなどの面で様々なハードルがあります。移住者が本町での暮らしをしっかりとイメージできることが必要であり、来町前の移住希望者への具体的な情報提供、町内での受け入れ態勢の整備（住居の紹介、コミュニティ活動への招待、相談窓口など）、しごとプロジェクトと連携した就業支援を時間をかけて行うことが重要です。

「地域の魅力」のほか、「仕事」「暮らし」に関する具体的な情報提供、体験機会の創出、相談サポーターの育成など総合的に取組みます。

- 既に総合計画に記載・実施している事業
- 浜頓別町での強化事業
- 新規提案事業

### (3) 具体的な施策

#### ① 誰もが暮らしやすいまちづくり

①-1 暮らしのサービスの充（住宅、買い物、交通、娯楽）

- ① 若者暮らし応援住宅整備事業
- ② 生活交通路線維持対策事業
- ③ 地域内外の交通体系の検討
- ④ 福祉タクシー助成事業、
- ⑤ 福祉有償運送補助事業
- ⑥ 高齢者バス無料乗車券交付事業
- ⑦ 高齢者在宅生活支援事業（移送サービス）
- ⑧ プレミアム付商品券発行事業補助金
- ⑨ 商業機能の活性化に向けた取組支援（再掲）

①-2 保健・医療の充実

- ① 医療ネットワークの整備
- ② 特定疾患等患者援護費
- ③ 予防接種費助成事業（インフルエンザ、高齢者肺炎球菌）
- ④ 成人・高齢者保健事業
- ⑤ 自殺予防事業
- ⑥ 長寿健康づくり事業（体育施設使用料助成）
- ⑦ 健康づくり地域リーダーの養成・確保
- ⑧ 医療技術者確保事業

①-3 福祉（高齢者・障害者・低所得者）の充実

- ① いきがい活動支援通所事業
- ② 高齢者等グループホーム事業
- ③ 訪問介護事業所運営補助事業
- ④ 老人保護措置費
- ⑤ デイサービスセンター運営補助事業
- ⑥ 高齢者在宅生活支援事業（除雪サービス事業）
- ⑦ 老人クラブ補助事業
- ⑧ 高齢者冬季生活支援事業
- ⑨ 障害者地域活動支援センター事業
- ⑩ 障害者自立支援給付費
- ⑪ 特例障害児通所事業
- ⑫ 障害者医療費助成事業
- ⑬ 障害者就業機会拡大事業
- ⑭ 相談支援・充実強化事業
- ⑮ 社会福祉協議会補助事業
- ⑯ 暮らし・未来の相談サポーター（福祉）

## ② 地域連携によるコミュニティづくり

②-1 防災・消防の強化

- ① 防災備品購入事業
- ② 町内一斉防災訓練事業
- ③ 要援護者台帳整備事業

②-2 住民参画の推進

- ① 広報発行事業
- ② みんなでつくる参加型広報

②-3 コミュニティ活動の充実

- ① コミュニティ活動活性化事業
- ② 世代間交流事業
- ③ 高齢者事業団補助事業
- ④ コミュニティ施設管理委託事業
- ⑤ 交流館事業（交流施設）

## ③ 移住・定住の促進

③-1 移住・定住希望者の確保に向けた情報発信・サポート

- ① 浜頓別で暮らそうツアー（移住）
- ② 暮らし・未来の相談サポーター（移住）

## ① 誰もが暮らしやすいまちづくり

### ①-1 暮らしのサービスの充実（住宅、買い物、交通、娯楽）

- **空き家等の活用による若年層向け住宅の整備**
  - ・ 若年層が経済的に暮らしやすい低賃料の住宅整備（空き家を活用したシェアハウス事業）
- **地域のニーズを踏まえた交通体系の見直し**
  - ・ 福祉バスやタクシー助成など福祉サービスの視点も含めたバス路線の見直しや新たな輸送手段（デマンドバス）の導入
- **地域ニーズに合わせた商業機能の確保（再掲）**
  - ・ 中小企業の経営支援（町民向けの域内消費推進キャンペーン、地域での買い物・サービスの地域ニーズの把握及び対応策の協議・連携の促進）

数値目標項目	基準値	KPI（H31）
デマンドバス利用者数	-	5,000人

#### 具体的な事業

- ① 若者暮らし応援住宅整備事業
- ② 生活交通路線維持対策事業
- ③ 地域内外の交通体系の検討
- ④ 福祉タクシー助成事業
- ⑤ 福祉有償運送補助事業
- ⑥ 高齢者バス無料乗車券交付事業
- ⑦ 高齢者在宅生活支援事業（移送サービス）
- ⑧ プレミアム付商品券発行事業補助金
- ⑨ 商業機能の活性化に向けた取組支援

## ①-2 保健・医療の充実

- **北海道・周辺地域と連携した医療ネットワークの構築**
  - ・ 浜頓別町における医療サービスを補てんする広域連携体制の構築
- **医療費等の助成による経済的サポート**
  - ・ 予防接種費の助成や特定疾患等の治療のため治療通院の必要な患者への費用助成
- **地域住民が主体となった健康づくり**
  - ・ 保健推進委員協議会や食生活改善協議会による啓発活動
  - ・ 健康づくり地域リーダーの養成・確保
- **医療技術者の確保に向けた取組**
  - ・ 看護大学、看護専門学校へ訪問により看護師就学資金のPR
  - ・ 浜頓別町の魅力や暮らしの情報提供、現役職員との交流会

数値目標項目	基準値	KPI (H31)
専門外来（小児科・眼科）の診療日数	年 18 日 (H26)	年 36 日
特定健診受診率	25.3% (H26)	60%

具体的な事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 医療ネットワークの整備</li> <li>② 特定疾患等患者援護費</li> <li>③ 予防接種費助成事業（インフルエンザ、高齢者肺炎球菌）</li> <li>④ 成人・高齢者保健事業</li> <li>⑤ 自殺予防事業</li> <li>⑥ 長寿健康づくり事業（体育施設使用料助成）</li> <li>⑦ 健康づくり地域リーダーの養成・確保</li> <li>⑧ 医療技術者確保事業</li> </ul>
--------	---

### ①-3 福祉（高齢者・障害者・低所得者）の充実

- **高齢者の生活サポート**
  - ・ 高齢者の介護体制の整備・充実
  - ・ 子どもの放課後活動事業との連携や、ボランティアによる買い物・除雪サービス、サロン活動等（高齢者の生活サポート、多世代交流の機会）
- **障害者の生活サポート**
  - ・ 障害者の生活サポート体制の整備・充実
  - ・ 就労機会の拡大に向けた地域内連携
- **地域で連携したサポート体制の構築**
  - ・ 町内会等での支え合いマップづくりによる、ご近所福祉の推進・連携の強化
  - ・ 生活相談窓口の設置による機能強化（高齢者・障害者・低所得者などの相談を受け付け担当機関を紹介するサポーター）
  - ・ 低所得者等の自立に向けた支援（生活実態の把握）

数値目標項目	基準値	KPI（H31）
支え合いマップづくり	5 自治会（H26）	10 自治会

具体的な事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>① いきがい活動支援通所事業</li> <li>② 高齢者等グループホーム事業</li> <li>③ 訪問介護事業所運営補助事業</li> <li>④ 老人保護措置費</li> <li>⑤ デイサービスセンター運営補助事業</li> <li>⑥ 高齢者在宅生活支援事業（除雪サービス事業）</li> <li>⑦ 老人クラブ補助事業</li> <li>⑧ 高齢者冬季生活支援事業</li> <li>⑨ 障害者地域活動支援センター事業</li> <li>⑩ 障害者自立支援給付費</li> <li>⑪ 特例障害児通所事業</li> <li>⑫ 障害者医療費助成事業</li> <li>⑬ 障害者就業機会拡大事業</li> <li>⑭ 相談支援・充実強化事業</li> <li>⑮ 社会福祉協議会補助事業</li> <li>⑯ 暮らし・未来の相談サポーター（福祉）</li> </ul>
--------	---

## ② 地域連携によるコミュニティづくり

### ②-1 防災・消防の強化

#### ● 町内一斉防災訓練の実施

- ・ 現在区域ごとに分けて実施している訓練を町内一斉に実施することによる意識改革・非常時への対応強化・課題の把握
- ・ 関係者と連携した要援護者台帳の整備

数値目標項目	基準値	KPI (H31)
町内一斉防災訓練の実施	-	1回

具体的な事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 防災備品購入事業</li> <li>② 町内一斉防災訓練事業</li> <li>③ 要援護者台帳整備事業</li> </ul>
--------	--

### ②-2 住民参画の推進

#### ● 住民とともにつくる参加型広報

- ・ 住民の声を載せる機会を増やした住民参加型広報への転換
- ・ 浜頓別町出身者やふるさとサポーター（ふるさと浜頓別応援寄付）への定期配布

数値目標項目	基準値	KPI (H31)
広報作成の市民ボランティア	-	12人

具体的な事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 広報発行事業</li> <li>② 住民とともにつくる参加型広報</li> </ul>
--------	--

### ②-3 コミュニティ活動の充実

#### ● コミュニティ活動の活性化

- ・ ボランティアパスポートのような活動支援ツールを検討（コミュニティ活動等に参加することで貯めたポイントを商店街で活用できるチケットと交換する仕組み等）

- ・ 社会参加活動の活性化（高齢者、障害者の就労機会の創出）
- **地域活性化の拠点づくり（再掲）**
  - ・ 交流、観光振興及び産業振興の役割を担う浜頓別町交流館の整備
  - ・ 交流施設には、多世代が活用する機能（カフェなど）を導入し、気軽に集うことのできるスペースを確保

数値目標項目	基準値	KPI（H31）
住民懇談会実施自治会数	17自治会	23自治会

具体的な事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>① コミュニティ活動活性化事業</li> <li>② 世代間交流事業</li> <li>③ 高齢者事業団補助事業</li> <li>④ コミュニティ施設管理委託事業</li> <li>⑤ 交流館事業（交流施設）</li> </ul>
--------	---

### ③ 移住・定住の促進

#### ③-1 移住・定住希望者の確保に向けた情報発信・サポート

- **移住・定住希望者が「気になる」情報の発信**
  - ・ 移住・定住希望者に向けた道内・道外都市部での情報発信
  - ・ 体験ツアーやちょっと暮らしの企画、相談サポーターの育成
  - ・ しごとプロジェクトと連携した就業支援

数値目標項目	基準値	KPI（H31）
移住体験事業利用件数	16件（H26）	20件
移住・定住者	-	3件

具体的な事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 浜頓別で暮らそうツアー（移住）</li> <li>② 暮らし・未来の相談サポーター（移住）</li> </ul>
--------	---



## 2.4 浜頓別魅力発信プロジェクト

### (1) 基本目標と重要業績評価指標（KPI）

地域が一体となった魅力発信で交流人口を増やし、浜頓別町ファンの拡大を目指します。

数値目標項目	基準値	目標値（H31）
交流人口（観光入込数）の増加	15万人 (H25)	17万人

#### ① ふるさと浜頓別への愛着創出

①-1 地域が一体となったイベントの振興

KPI イベントの参加人数 15,000人

①-2 浜頓別のファンづくり

KPI ふるさと浜頓別応援寄付 3,000件

#### ② 浜頓別の魅力の発信

②-1 観光地としての魅力 PR

KPI 浜頓別町ホームページ閲覧件数 月平均 20,000件

②-2 観光の拠点の整備

KPI コテージの利用者 4,000人

## (2) 基本的方向

### ① ふるさと浜頓別への愛着創出

本町の交流人口・定住人口を増やすためには、浜頓別町に愛着と誇りを感じ、ずっと住み続けたい、いつか住んでみたいと思うようなまちづくりが必要です。本町の高校生のうち80%が浜頓別町への愛着を感じると答えており、その理由として「自然の美しさ」「地域の人との関わり」があげられています。

たくさんの方が浜頓別町に触れ、訪れ、交流する機会を創出し、生き生きとした時間を過ごすことができるような活動を推進します。

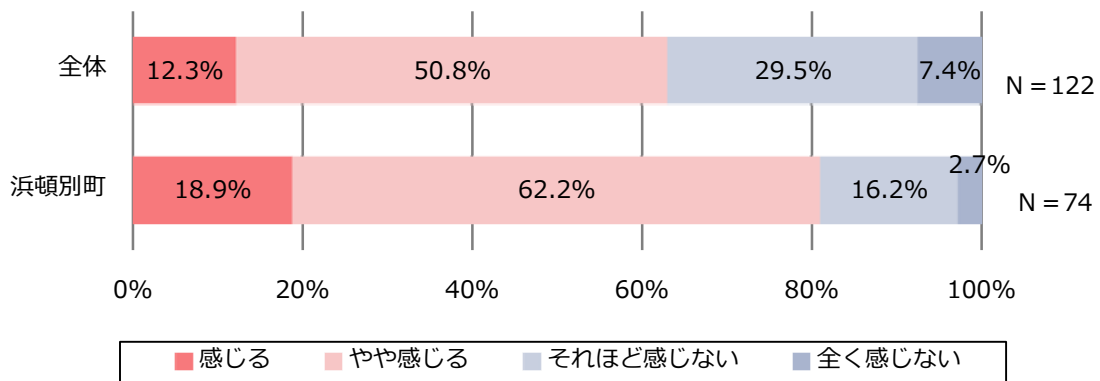


図 10 浜頓別町への愛着・誇り（浜頓別高校生アンケート：浜頓別町在住者）

### ② 浜頓別の魅力の発信

本町の観光入込数は、年間 15 万人程度で近年は横ばいとなっています。道外客が道内客を上回っており、宿泊客は全体の 1 割程度となっています。より多くの人に訪れ、滞在してもらい交流人口を増やすことは、地域経済の活性化につながります。

観光ニーズが多様化し、団体ツアーから個人旅行へのシフト、滞在型・体験型観光へのニーズが高まっている中、浜頓別町の貴重な自然・産業などを活用した新たな観光振興の取組が必要となっています。

地域の魅力を自ら語ることでできる住民を増やし、滞在型、体験型に対応できる観光振興に取り組みます。

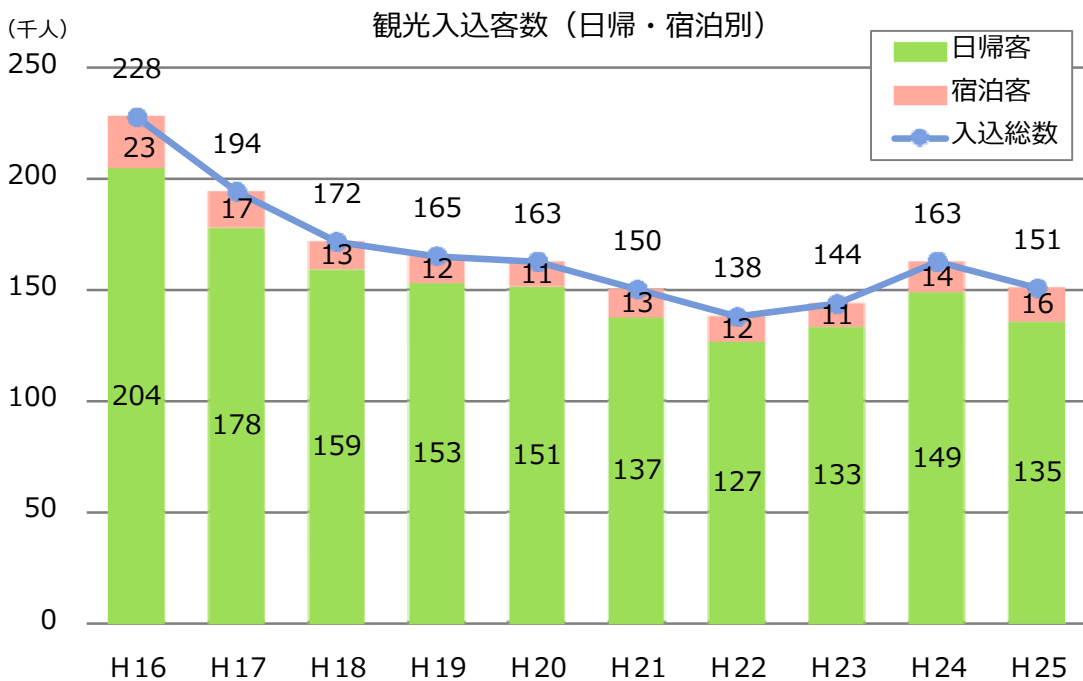
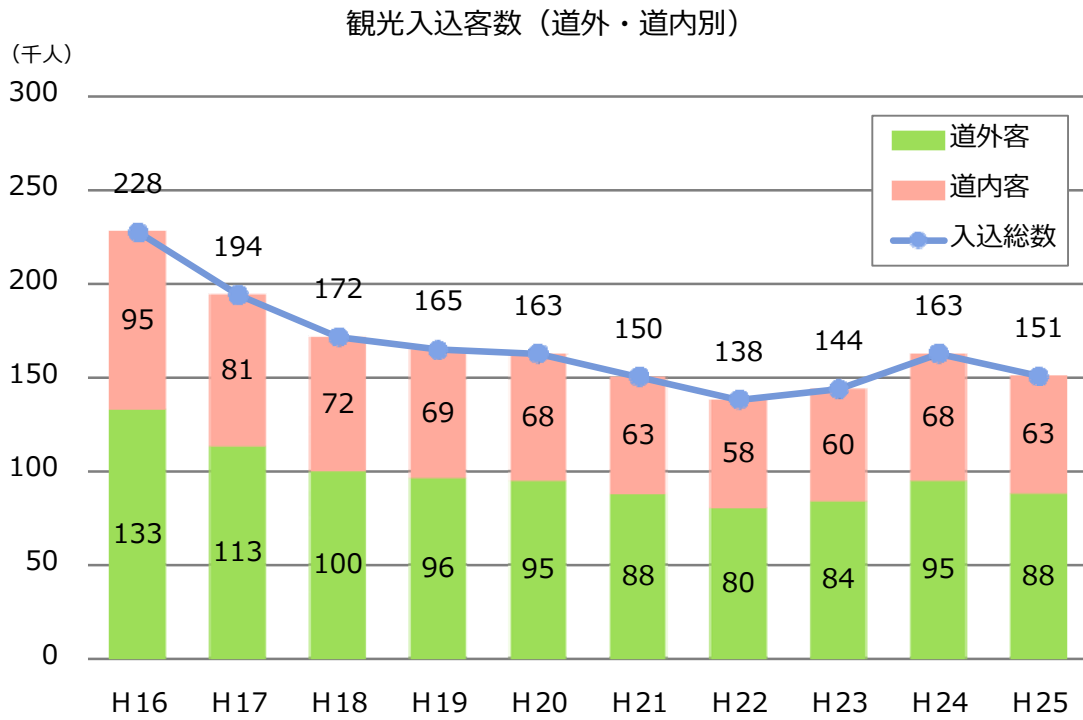


図 11 浜頓別町の観光入込客数の推移（北海道観光入込客数調査報告書）

- 既に総合計画に記載・実施している事業
- 浜頓別町での強化事業
- 新規提案事業

### (3) 具体的な施策

#### ① ふるさと浜頓別への愛着創出

①-1 地域が一体となったイベントの振興

- ① 北オホーツク 100km マラソン大会
- ② 各種イベント委託事業
- ③ 走り方教室・水泳教室の実施
- ④ 学校開放の実施
- ⑤ スポーツ奨励事業
- ⑥ 遺跡発掘調査
- ⑦ 芸術文化活動補助金

①-2 浜頓別のファンづくり

- ① ふるさと浜頓別応援寄付
- ② 特別区全国連携プロジェクト

#### ② 浜頓別の魅力の発信

②-1 観光地としての魅力 PR

- ① 観光協会補助金
- ② 浜頓別魅力発見事業
- ③ 砂金公園インストラクター委託事業
- ④ 観光フラワーガイド委託事業
- ⑤ 滞在・体験型観光推進事業
- ⑥ 情報発信ツール整備事業

②-2 観光の拠点の整備

- ① コテージの増設
- ② 交流館事業（観光振興施設）

① ふるさと浜頓別への愛着創出

①-1 地域が一体となったイベントの振興

● 町内イベントへの町民参画の促進

- ・ 町民が楽しみながら、一体となって取り組むことのできるイベント・取組を推進
- ・ 観光だけでなく、町民自身が浜頓別町の人・自然・文化に触れる機会としてもイベントを位置づけ、企画・運営・実施・参加など個人の希望に合った段階からの参画を呼びかけ(浜頓別くらしプロジェクトのコミュニティ活動活性化事業と連携)

数値目標項目	基準値	KPI (H31)
イベントの参加人数 (クッチャロ湖水まつり、ウソタン砂金フェスティバル、ふるさとまつり in はまとんべつ、北オホーツク100km マラソンの合計)	13,000 人 (H26)	15,000 人

具体的な事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 北オホーツク 100km マラソン大会</li> <li>② 各種イベント委託事業</li> <li>③ 走り方教室・水泳教室の実施</li> <li>④ 学校開放の実施</li> <li>⑤ スポーツ奨励事業</li> <li>⑥ 遺跡発掘調査</li> <li>⑦ 芸術文化活動補助金</li> </ul>
--------	--

## ①-2 浜頓別のファンづくり

### ● ふるさと浜頓別応援寄付

- ・ 浜頓別町のふるさとサポーター制度として、ふるさと浜頓別応援寄付（ふるさと納税）を整備
- ・ ふるさとサポーターへの広報の配布等、町内情報の発信による浜頓別町のファンづくり
- ・ 各種特典による訪れてもらうための工夫

### ● 都市部との連携・交流

- ・ 特別区全国連携プロジェクトによる特別区（東京都）との新たな連携を模索

数値目標項目	基準値	KPI（H31）
ふるさと浜頓別応援寄付	5件（H26）	3,000件

具体的な事業	① ふるさと浜頓別応援寄付 ② 特別区全国連携プロジェクト
--------	----------------------------------

## ② 浜頓別の魅力の発信

### ②-1 観光地としての魅力PR

#### ● 「外の目」で浜頓別町の魅力発掘

- ・ 移住者や地域外の人視点も参考に、浜頓別町について地域住民が学ぶ機会づくり
- ・ 地域の魅力を自ら語ることでできる観光ガイドを育成

#### ● 情報発信ツールの整備

- ・ ホームページ、SNS等、情報発信内容の見直し
- ・ 定期的・継続的な情報発信方法の検討
- ・ 浜頓別町の地域資源（人・自然・産業）を紹介するパンフレット・サイトの作成検討（浜頓別しごとプロジェクトの「浜頓別お仕事大辞典」との連携）

数値目標項目	基準値	KPI (H31)
浜頓別町ホームページ閲覧件数	月平均 11,000件 (H26)	月平均 20,000件

具体的な事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 観光協会補助金</li> <li>② 浜頓別魅力発見事業</li> <li>③ 砂金公園インストラクター委託事業</li> <li>④ 観光フラワーガイド委託事業</li> <li>⑤ 滞在・体験型観光推進事業</li> <li>⑥ 情報発信ツール整備事業</li> </ul>
--------	--

## ②-2 観光の拠点の整備

### ● 滞在・体験型観光の推進

- ・ 滞在型・体験型の観光の振興に向けた現在3棟あるコテージの増設（お試し移住や移住・婚活ツアーなど、多様な場面で年間を通して積極的に活用）
- ・ 周囲の市町村と連携した広域観光ルートの検討

### ● 地域活性化の拠点づくり（再掲）

- ・ 交流、観光振興及び産業振興の役割を担う浜頓別町交流館を整備
- ・ 観光振興施設は、観光客が気軽に立ち寄ることのできる浜頓別町の観光窓口や、情報発信拠点を整備

数値目標項目	基準値	KPI (H31)
コテージの利用者	2,900人 (H26)	4,000人

具体的な事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>① コテージの増設</li> <li>② 交流館事業（観光振興施設）</li> </ul>
--------	--